

DAWN 通信

★特集

このような事業展開をしていきます! ②

■自立化スタート
～生まれ変わった財団に一層のご支援を～ ①

■講座・イベントのご案内 (4月～6月) ④

■ピックアップ・主催事業報告 ⑤

■新役員体制／賛助会のご案内 ⑥

第5号

2010. 4

財団法人大阪府男女共同参画推進財団は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる真に豊かな社会の実現に貢献します。

自立化スタート

～生まれ変わった財団に一層のご支援を～

(財)大阪府男女共同参画推進財団は2010(平成22)年4月、大阪府の出資法人改革により、自立化法人に生まれ変わりました。自立化とは、人もお金も大阪府に頼らず、民間団体と同じように独り立ちすることで、困難な道のりながら、みなさんにより親しまれる財団運営を心がけてまいります。

自立化にあたり、私たちは次のことを決意しました。

○女性も男性も、子どもも高齢者もすべての人が生きやすい男女共同参画社会づくりのために、府民のみなさんにとってかけがえのない新法人への変革をめざす。

○これまでの事業実績により、みなさんから評価いただいた職員の高い専門性と広いネットワークを継承し、社会動向の変化に応じた事業を実施していく。

○多様な手法による事業展開によって、大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）の機能を一層高めていく。

私たち財団にとって自立化は、1994(平成6)年の設立から17年目に迎えた最も大きな試練です。とりわけ、財政基盤をどう築いていくかが課題で、今回、大阪府による市場化テスト（提案プロポーザル）で私たちの受託が決まった「大阪府男女共同参画推進事業」（契約期間3年）のほか多様な自主事業、さまざまな団体・機関の委託や助成事業に取り組みます。あわせて個人、団体のみなさんへ賛助金と寄付金をお願いを続けてまいります。みなさんのより一層のご理解、ご支援をお願いいたします。

財団法人大阪府男女共同参画推進財団
理事長 時岡禎一郎

2010年4月、財団“自立化”スタート

このような事業展開をしていきます！

●大阪府受託事業

提案プロポーザルにより受託しました。

- 大阪府男女共同参画推進事業
 - ◎相談カウンセリング事業
 - ◎女性に関する情報の収集・提供事業
 - ◎啓発講座事業
- ドーンセンター指定管理業務
- 大阪府不妊専門相談センター事業

●政府及び政府関係機関からの受託事業

大阪府以外の関係機関からも事業を受託します。

- 独立行政法人国際協力機構（JICA）他

●助成金事業

助成金を獲得して事業を実施します。

- ACCJ（在日米商工会議所）関西支部
- マイクロソフト社
- 財団法人地域創造

●「はなみずき基金」充当事業

府内在住の女性篤志家から当財団にいただいた寄附金を基に設置した基金を活用します。

- はなみずきキャリア塾II
- ドーン・シネマクラブ
- 第16回女性芸術劇場
- 女性の健康支援事業

●寄附事業

2010年、「国際ソロブチミスト大阪一東」からいただいた寄附金で事業を実施します。

●賛助会費充当事業

賛助会費を活用して事業を実施します。

- 広報事業
- 次世代育成事業
- 援助者養成事業

●共催事業

随時実施します。

●自主事業

講師派遣や販売収入を基に事業を実施します。

- アウトリーチ活動
- 情報発信事業
- スタディツアー

●大阪府受託事業

◎女性に関する情報の収集・提供事業

- ・ドーンセンター情報ライブラリーの運営
開館時間 火～木、土 9:30～17:30
金 9:30～20:00
問い合わせ TEL06-6910-8616
- ・ドーンセンターHPの運営
- ・メールマガジンの発行

◎啓発講座事業

- ・市町村職員等研修
- ・学校教職員・企業研修
- ・府民対象啓発講座

◎ドーンセンター指定管理業務

- ・会議室貸出、施設管理
- ・グループ活動支援
- ・一時保育事業の運営
- ・視察対応

●政府及び政府関係機関からの受託事業

<独立行政法人国際協力機構（JICA）事業>

◎アフガニスタン国

「女性の貧困削減プロジェクト」

●賛助会費充当事業

◎広報事業

- ・財団ホームページの運営
- ・ニュースレター
『DAWN通信』の発行

◎次世代育成事業

- ・インターンシップ
- ・新任教員研修の受け入れ
- ・研修・実習生の受け入れ
- ・就職・再就職をめざす女性の職場体験の受け入れ

◎援助者養成事業

- ・フェミニストカウンセリング専門講座
- ・スーパーバイズ講座

理事会を刷新し、各分野の助言をいただくアドバイザーを設置しました。大阪府をはじめ、政府及び政府関係機関からの事業受託、団体・企業の助成金、基金や賛助会費など多様な財源の獲得に努め事業を展開、誰もが生きやすい男女共同参画の実現をめざします。

◎相談カウンセリング事業

- ・女性の悩み電話相談
相談専用電話 06-6937-7800
火～金 17:00～20:00
土・日 10:00～16:00
- ・女性のための面接相談（予約制）
まずはご予約を。
相談事務局 06-6910-8588
火～金 13:30～18:00
18:45～21:00
土・日 9:30～13:00
13:45～18:00
- ・カウンセラー派遣

◎不妊専門相談センター事業

- ・不妊にまつわる電話相談
相談専用電話 06-6910-8655
毎週水曜日 10:00～16:00
(第5週・祝日・年末年始は除く)
第4土曜日 13:00～16:00
(4月、8月、12月は除く)
- ・サポート・グループ
- ・HP運営等

●「はなみずき基金」充当事業

◎ドーン・シネマクラブ

5月・7月・9月・12月・2月

◎はなみずきキャリア塾Ⅱ

4月～2011年3月

◎女性の健康支援事業

女性のためのリラクゼーション・ボディワーク

◎第16回女性芸術劇場

シンポジウム/演劇公演 2月

行動型！
理事会

ファンドレイジング

財団組織運営

◎理事会運営

◎人事・経理・総務

◎職員研修の実施

◎賛助会運営 他

財団アドバイザー
・サポーター

●助成金事業

<「ACC」(在日米国商工会議所 関西支部) 助成>

◎はなみずきキャリア塾Ⅱ 4月～2011年3月

<「マイクロソフト社」助成>

◎経済的に困難な女性のための
パソコン講座事業

◎働きづらさに悩む若い女性のための
パソコン講座事業

10月・11月

<「財団法人地域創造」助成>

◎第16回女性芸術劇場

シンポジウム/演劇公演

「インスパイア～女性劇作家たちによる創作競演」 2月

●共催事業

◎研究機関との共催

◎団体 NPO との共催 他

●寄附事業

◎共催事業の開催

●自主事業

◎アウトリーチ活動

- ・講師派遣
- ・大学の講義受託
(同志社大学、桃山学院大学等)

◎情報発信事業

- ・海外女性監督ドキュメンタリー
作品の収集・加工・販売
- ・ハンドブック、書籍の販売

◎スタディツアー(国内外)

※事業内容・時期等は変更になる場合があります。

講座・イベントのご案内

ACCJ関西支部助成、はなみずき基金事業

はなみずきキャリア塾Ⅱ



働く女性のワークライフの充実、生涯にわたりキャリアを創造する力量形成を目的とした実践セミナーです。

4月～7月 <創る>

- 4/24 キャリアを創る／美と身体表現
- 5/22 新しい仕事を創る／美食を楽しむ
- 6/26 ぶれない視点をもつ／映画が面白い
- 7/24 元気の素をもつ／日本庭園の魅力 ＊交流会
- 会場 ドーンセンター特別会議室（5F）
- 受講料 3,000円（1回）

はなみずき基金事業

第36回 ドーン・シネマクラブ

未来の食卓

南フランスの小さな村から
“食”を見つける

(2008/ フランス / 112分 / 監督：ジャン＝ポール・ジョー)

- 5月14日（金）14：00 / 19：00
15日（土）14：00
- 会場 ドーンセンター視聴覚スタジオ（5F）
- チケット 各回 前売り1,000円（当日1,300円）
電話予約可（上映日前日まで）
※賛助会員は前売り料金



大阪府受託事業

男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム<基礎編>

初めて男女共同参画施策にたずさわる職員が、事業を推進していくための力量を形成するための研修講座です。

- ・5月～6月（予定）
- ・プログラムの詳細等は、チラシ、ホームページ等でお知らせします。
- 【問い合わせ先】（財）大阪府男女共同参画推進財団 企画推進グループ TEL.06-6910-8615

大阪府受託事業

女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム

女性の悩みの背景にあるジェンダー問題を理解し、相談事業の運営に役立てるための研修講座です。

- ・5月～6月（予定）
- ・プログラムの詳細等は、チラシ、ホームページ等でお知らせします。
- 【問い合わせ先】（財）大阪府男女共同参画推進財団 企画推進グループ TEL.06-6910-8615

不妊専門相談センター事業

無料

サポート・グループへのお誘い

同じ立場の人どうし、自分の気持ちを語り合い、経験や痛みをわかちあい…ともに支え合うためのグループです。

「不妊のこと、話し合ってみませんか」

2010年5月11日～7月13日
第2・4火曜日 10：00～12：00 参加費 無料
ドーンセンター和室（4F）

「不育・習慣流産の体験を、話し合ってみませんか」

2010年5月22日（土）・6月26日（土）・7月24日（土）
10：00～12：00 参加費 無料
ドーンセンター和室（4F）

問い合わせ先：不妊専門相談センター事務局 06-6910-8588

共催事業

“未知の私”と出会いのWORK ～私らしく自信をもっていきるために～

2010年4月9日～8月27日 第2・4金 10：00～12：00
参加費：5,000円（全10回）

●問い合わせ先：こころの相談室 WOMAN 06-4981-3717

竹中恵美子に学ぶ ～労働・社会政策・ジェンダー～

2010年5月21日～2011年4月22日 18：30～21：00
参加費10,000円（全12回）

●問い合わせ先：関西女の労働問題研究会 072-683-7077

女性が生きる 経済が生きる「わたしの政経塾」

2010年4月17日～2011年3月19日 10：00～12：00
参加費 9,000円/4ヶ月（26,000円/1年）

●問い合わせ・申込先：「わたしの政経塾」企画委員会
seikei@women-economy.com

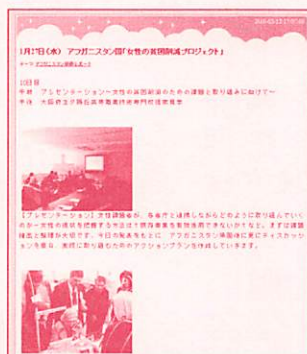
「女性の貧困削減」に向けて アフガニスタン政府幹部職員の研修事業を行いました

2010年1月18～28日に、JICA(独立行政法人国際協力機構)から委託を受け、標記研修事業を行いました。アフガニスタンが抱える深刻な課題の1つが女性の貧困削減です。紛争とタリバン政権等の生活制限中で進学や就労の機会を奪われてきたアフガン女性たちの経済的エンパワメントをめざすには、女性課題省が行政能力を強化し、農村開発省、経済省などの他省庁や国家プログラムと連携・協働しながら、支援体制を創っていくことが重要です。

研修プログラムでは、男女共同参画や女性労働の政策、農村政策、生活改良普及員の役割等についての講義、大阪府立夕陽丘高等職業専門学校、大阪府茨木市見山の郷、JOB プラザ大阪などの関係機関の視察訪問等を計画し来日をお待ちしていました。ところが、ピザの発給遅延や銃撃戦による問題、フライトトラブルなどにより、全員が揃ったのは研修開始5日後。そんな中でも集中力を高め、帰国後に何ができるか、どのように取組んでいくのかを討議・発表し、とても濃密な研修を実施することができました。

大阪でも女性たちの声を大切に、話し合いを重ね、地道な作業を繰り返すことで、今を創ってきました。国は違っても共感し合えることが多くあります。またお喋りとジョークが大好きで情熱的というアフガニスタンの国民性も伺えました。

関係機関の皆さま大変お世話になりました。この取組みは、これからも継続していきます。



研修事業の様子は、
財団ブログで公開
しています

<http://ameblo.jp/ogef/>

ogef 検索 

母子家庭のお母さんの就職・再就職を応援！

～「母子家庭のお母さん等を対象とした
職業訓練 (パソコン実務科)」を実施しました～

この不況のなかでなんとか仕事に就きたいとがんばっていらっしゃる母子家庭のお母さんたち。国の平成21年度新規事業である無料の母子家庭向け1ヶ月間の職業訓練コースを、当財団が独立行政法人雇用・能力開発機構より受託し、ドーンセンターで実施しました。

期間は18日間で、内容は79時間のパソコン講習と、29時間の就業準備講座(「面接のコツ」「家族・子どもとの関係づくり術」「自分の強みさがし」「先輩に聴く：様々な働き方」「必要な情報の探し方」など)です。保育付きですので、通勤ラッシュの時間帯で子連れママにはつらい状態であるにも関わらず子どもさんと一緒にドーンセンターに通われた方が何名もおられました。

1日6時間という長時間講座、しかも土日の開講日もありというハードスケジュールでしたが、出席率がたいへん高かったことでもみなさんの熱心さがうかがえました。慣れないパソコン操作による肩凝りや目の疲れも何のその、終盤には全員が自身の今後をパワーポイントを駆使して発表するまでに到達されました。

2月コース(2月2日～27日)と3月コース(3月2日～21日)をあわせ、26名が修了され、それぞれ就職に向けて積極的に活動されています。最終日のアンケートには「本当にすばら

しい内容の職業訓練でした。同じ母子家庭のお母さんたちにこのコースをぜひ知ってほしいです」「この講座に応募したことが一つの大切な出会いになりました」「前に向かう勇気をもらいました」など、エンパワーしたみなさんの声がたくさん寄せられました。



英文情報誌 DAWN 2009 「Women in Osaka」を発行しました。

大阪の女性の活動やデータ、大阪府男女共同参画施策、ドーンセンターの機能や当財団事業などを盛り込み、アフガニスタン政府幹部職員研修でもテキストとして使用しました。財団ホームページでもご覧いただけます。



新役員体制

【理事長】

時岡 禎一郎 ジャーナリスト・元大阪府理事

【理事】

尼川 洋子 人と情報を結ぶWEプロデュース 代表

上田 理恵子 (株)マザーネット 代表取締役社長

金光 哲司 (財)大阪府男女共同参画推進財団 事務局長

川中 大輔 シチズンシップ共育企画 代表

木下 みゆき (財)大阪府男女共同参画推進財団 統括ディレクター

高田 昌代 神戸市看護大学 教授

段林 和江 弁護士

畑 律江 毎日新聞 学芸部編集委員

早瀬 昇 (社福)大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長

【監事】

田上 時子 (特活)女性と子どものエンパワメント関西 理事長

林 紀美代 公認会計士

(平成22年4月1日現在 50音順)

賛助会員募集中!

当財団は1994年創立以来、ドーンセンターを拠点に、男女共同参画社会の実現をめざして大阪府からの受託をはじめ、財団自主事業を展開しています。例えば、働く女性のためのセミナー、男性のための講座、行政や学校教員を対象とした研修、職場における女性活躍推進等、企業で研修を企画される際の情報相談や資料の貸し出し、女性のメンタルヘルス支援事業などです。(詳しくはホームページ <http://www.ogef.jp/> をご参照ください。) 私たちとともに豊かな男女共同参画社会を築いていきませんか。

【年会費】(4月から翌年3月までの年度制となります)

- ・個人 一口 3千円
- ・団体 企業等 一口 1万円
- 非営利団体 一口 5千円

【振込先】

郵便振替口座 00900-9-155214

口座名 サイタン キョウシン オキサカフ マンジヨ キョウドウサンカフ スイシン サイタン 財団法人大阪府男女共同参画推進財団

☆通信欄に『賛助会員 年会費(口数)』と、お名前、ご住所、電話番号、メールアドレス、お名前公表の可否をご記入ください。

「賛助会カード2010」を

発行しています



賛助会カードは、個人会員の方に配布しているカードです。

2010年度の会費をご入金いただきますと、発行いたします。次のような特典があります。

- ★ 財団が発行する定期刊行物(『DAWN(ドーン)通信』等)の送付
- ★ 財団指定の主催セミナー・講習会等の参加割引
- ★ 財団主催の文化芸術事業(映画等)を賛助会員価格にてご案内
- ★ ドーンセンター近隣協賛施設での割引(個人のみ)

財団に関する最新情報は、ホームページでご案内しています。→<http://www.ogef.jp>

ogef

検索

編集・発行 財団法人大阪府男女共同参画推進財団 ニュースレター編集部
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 ドーンセンター3F
TEL: 06-6910-8615 FAX: 06-6910-8624
E-mail: info@ogef.jp <http://www.ogef.jp/>

発行日:平成22(2010)年4月1日